



造林公社債務など、80億円の財源不足を理由に 福祉や教育予算を削減へ

	現行	見直し
低所得老人 65～69歳	医療費1割(月限度額:通院8000円、入院24600円)	医療費2割 限度額据置
一人暮らし寡婦(65～69歳)	医療費1割(月限度額:通院12000円、入院44400円)	
一人暮らし寡婦(~64歳)	通院500円(1レセプト) 入院1000円(1日)	上の高齢者寡婦と同様に
所得制限(扶養1人の場合)		
	現行	見直し
乳幼児	570.0万円	339.6万円
母子・父子	339.6万円	230.0万円

滋賀県は10月15日、「収支改善に向けた更なる見直し」を市町に説明しました。これによりますと、造林公社債務負担を県民負担で乗り切ろうとするもので、こんな県民犠牲は許されません。



暮らし守れの運動でストップをせましよう

今年度 毎年400億円の財源不足が見込まれるとして、「県財政構造改革プログラム」を策定していました。嘉田知事は、「造林公社や環境公社の債務確定で新たに80億円の財源不足が増大する」として、来年度以降の福祉・教育予算削減の方針を出したものです。

今回の「収支改善に向けた更なる見直し」では、上記表のように、低所得老人や乳幼児・母子父子家庭の福祉医療の自己負担強化を打ち出しています。また、小学校1年生の加配教員(57人)の削減。中学校の少数指導に当てる定数を、現在の164人から110人に減らすというものです。

新幹線新駅推進や造林公社問題を始めとするこれまでの県財政の破綻を県民に押し付けることは許されません。2008年度は、「福祉医療制度の後退許すな」の県民世論と運動でストップさせました。

日本共産党は市民のみならずと力を合わせ暮らしと福祉を守る県政をめざします。

市民の暮らしを守る市政の実現へ

ご意見・ご要望をお寄せください

12月定例会市議会

12月4日から開催されます
傍聴にお越しください

12月定例会市議会は、12月4日から開催されます。新市長のもとでの初めての定例会です。また、新年度の市予算編成時期でもあります。日本共産党は3名となりました市議団として、国民犠牲の政治から市民の暮らしを守る市政の実現へがんばります。ご意見・ご要望をお寄せください。

- 4日(木)本会議(議案提案)
- 11日(木)本会議(議案質疑・一般質問)
- 12日(金)本会議(一般質問)
- 15日(月)本会議(一般質問)
- 17日～19日 常任委員会
- 24日(水)本会議(議案討論・採決)

やす民報

日本共産党野洲市委員会
2008年11月2日 160

暮らしのご相談・要望
お寄せください

- 小菅六雄 (電話・FAX) 589-4971
(メール) shgdy177@ybb.ne.jp (ホームページ) <http://www.yasusigi.net/kosuga/>
- 野並享子 (電話・FAX) 587-0985
(メール) no73kyo_ko@ybb.ne.jp (ホームページ) <http://www.yasusigi.net/nonami/>
- 太田健一 (電話・FAX) 588-3169 (メール) kensan.world21@docomo.ne.jp